

様式 1

令和 年 月 日

明日香村長 森川 裕一 殿

住所又は所在地

商号又は名称

代表者職氏名

印

公募型プロポーザル参加申込書

(明日香村公営駐車場等運用体制構築事業に係るパートナーシップ企業選定事業)

標記の事業について、プロポーザル参加資格を有していますので、下記の書類を添えて、参加を申し込みます。

尚、提出書類に虚偽の記載があった場合は、公募型プロポーザルへの参加が取り消されることに同意します。

1 提出書類

資格調書

2 連絡先

担当部署名

役 職 名

担当者名

電話番号

F A X 番号

資 格 調 書

会社の概要

住所又は所在地	
商号又は名 称	
代表者職 氏 名	
事業概要	
保有セキュリティ認証	以下のいずれかを記載してください。（該当する箇所にチェックし、必要情報を記入してください。） ☐ ISMS 認証（ISO/IEC 27001） 登録番号：_____ ☐ プライバシーマーク（P マーク） 登録番号：_____ ☐ その他の個人情報保護体制を有していることを証する書類 証明内容：_____
コールセンター体制	【要件：24 時間 365 日対応】 運用形態を明記してください。（該当する箇所にチェックし、必要情報を記入してください。） ☐ 自社/グループ運営 ☐ 専門外部委託 委託先名：_____
受託実績	以下の分類に沿って、過去 5 年以内の実績を明記してください。（該当する箇所にチェックし、必要情報を記入してください。） ☐ 同種業務実績 （例：国・自治体等との PPP/PFI、指定管理、パートナーシップ協定に基づく公営駐車場等の構築・運営実績） 件 名：_____ 発注元：_____ 期 間：_____ ☐ 類似業務実績 （例：国・自治体・民間企業における時間貸有料駐車場の管理運営実績） 件 名：_____ 発注元：_____ 期 間：_____

※注意事項

本調書には、募集要項第 3 章 3(3)に定める提出書類を必ず添付のうえ提出してください
（例：受託実績を証明する契約書の写し・仕様書等、営業拠点を証する書類、国税及び地方税の納税証明書、ISMS 認証書又はプライバシーマーク登録証の写し、24 時間 365 日対応可能なコールセンター体制を証する書類、外部委託の場合の委託関係証明書等）。

様式 3

明日香村公営駐車場等運用体制構築事業に係るパートナーシップ企業選定事業
に係る質問票

令和 年 月 日

明日香村長 森川 裕一 殿

住所又は所在地

商号又は名称

代表者職氏名

担当部署名		
担当者職氏名		
電話番号		
FAX番号		
質 疑 事 項	回 答 事 項	
	※ この欄は記入しないで下さい。	

様式 4

令和 年 月 日

明日香村長 森川 裕一 殿

住所又は所在地

商号又は名称

代表者職氏名

印

明日香村公営駐車場等運用体制構築事業に係るパートナーシップ企業選定事業

標記の事業について、提案書を提出します。

記

提出書類

提案書（様式 5）

提 案 書

※審査基準の評価項目に沿って記載すること。

※記載順序は変更しないこと。

※図表、イメージ図、フロー図等の添付を可とする。

※業務実施体制・同種／類似実績の詳細は様式 2 と整合を図ること。

1 基本事項・事業理解

2 事業スキーム及び財務提案

本事業におけるシステム対価（村が事業者を支払う利用料・委託費）の構造、及び共通想定モデルに基づく 1 年間平均の収支シミュレーションを下記に従い記載してください。

1. 採用する対価支払いスキーム

- [] ① 定額システム利用料方式（月額／年額固定型）
- [] ② 売上連動方式（レベニューシェア型：売上高の ____ %を対価とする）
- [] ③ ハイブリッド方式（基本固定料＋利用実績・決済手数料等に応じた変動料）
- [] ④ その他独自提案（記述： _____ ）

2. 共通想定モデルに基づく 1 年間平均収支シミュレーション（金額は税込）

※【審査基準におけるベース評価指標（配点 20 点分：自動比率採点）】

全応募企業を公平に比較するため、村が指定する「共通想定利用モデル（年間駐車台数：22,000 台/年、基準単価：500 円/台、基準年間売上：1,100 万円/年）」を前提として、以下の表を算出してください。

※事業者が負担する初期設備投資額（イニシャルコスト）については、10 年間の事

業期間の中で平準化（10 年分割して年間の固定システム利用料等を含める形）して「1 年間平均額」を算出してください。

収支項目	年間想定金額（平均/年）
(A) 基準となる年間想定売上（村の収入） ※共通モデル：年間 22,000 台 × 500 円	11,000 千円/年
(B) 村が事業者に支払うシステム対価（村の支出：年間平均額） － 内訳①：固定システム利用料・委託費（初期投資平準化分含む） － 内訳②：変動費・決済手数料等（概算）	千円/年 (千円/年) (千円/年)
【客観的財務評価指標】 (C) 村の年間実質純収益（A - B） （村に残る年間純財源）	千円/年
（参考）事業者負担：初期設備投資額（カメラ・精算機・サイン等総額） ※上記(B)に平準化して含めた投資の総額	（総額： 千円）

3. 対価の算定根拠及び費用構造の考え方

- ・ 固定費の内訳と算定根拠
- ・ 変動費の内訳と算定根拠
- ・ 初期投資平準化の算定方法
- ・ 更新・更改費の見込みとその反映方法
- ・ 需要変動時に増減する費用と増減しない費用
- ・ 村と事業者のリスク分担
- ・ 10 年間の継続運用における費用の持続可能性

4. 事業者独自の需要予測及び増収施策提案（加点評価対象：配点 10 点分）

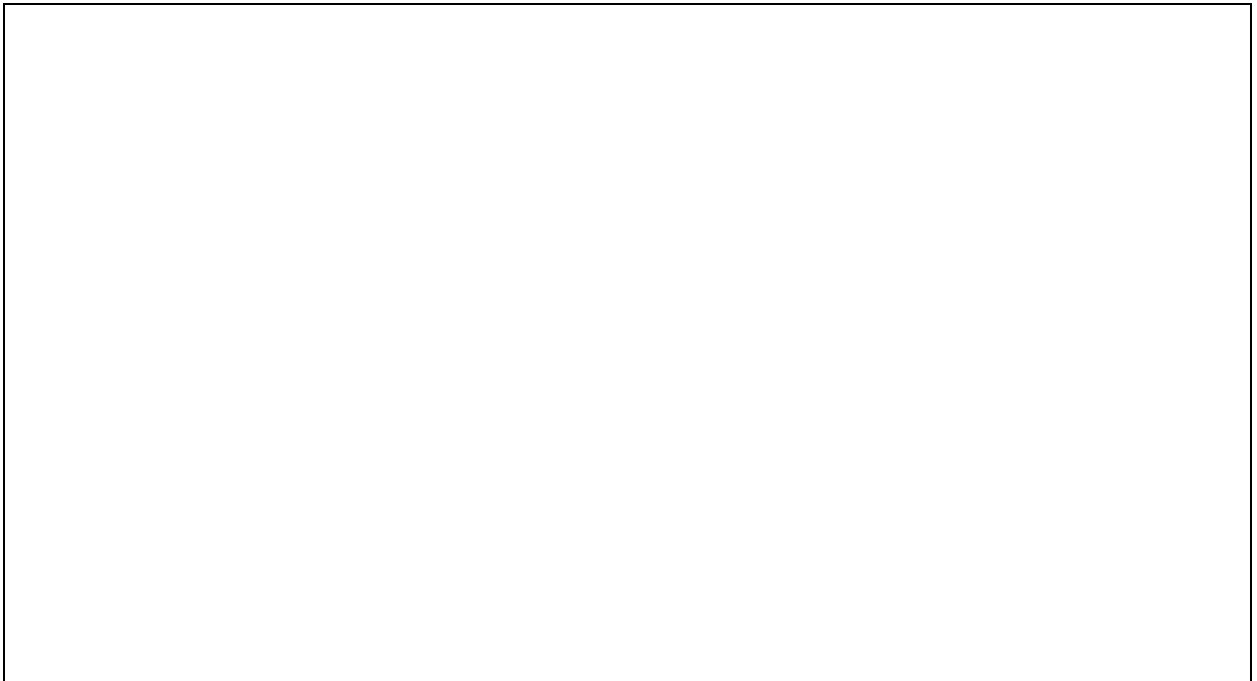
※上記「共通モデル（1,100 万円/年）」とは別に、ダイナミックプライシング、予約機能活用、イベント連携等による事業者独自の増収シミュレーション及び需要創出策を任意で提案してください。施策の実効性及び予測根拠の論理性・実現可能性を評価・採点します。

- ・ 独自増収施策の具体的な内容（ダイナミックプライシング設定、予約枠設定等）：
- ・ 独自試算による年間想定売上及び上乗せ見込み額（算定根拠）：

3 システム先進性・利便性・誘導性



4 景観配慮・光害対策



5 業務実施体制・BCP・実績

6 地域貢献・CSR・データ活用